

アジア環境・エコ技術と政策国際シンポジウム



金沢大生とともに説明を聞く(石川北部RDFセンター)

留学生は到着翌日、金沢大学に於いて開催された第2回アジア環境・エコ技術と政策に関する国際シンポジウムに参加しました。F1では、石川県内の環境ツアーフィーでは、石川北部R D FセンターにてR D F (廃棄物からできた燃料)についての説明を行つていきました。興味深く聞いていました。討議を行つていきました。環境関連分野の最新研究の報告に耳を傾け、積極的に質問をする姿が積み重ねられました。また、のとじま水族館を訪れ、日本の水族館の技術を視察する

金沢大学環境・エコ技術と政策に関する国際学生交流プログラム
(金沢大学大学院自然科学研究科)
金沢大学では、2014年7~8月に、中国、タイ、カンボジアから大学生と大学院生合計13名を迎えて、「金沢大学環境・エコ技術と政策に関する国際学生交流プログラム」を行いました。来日した学生が所属する大学(清華大学、北京師範大学、復旦大学、Kasetsart University, Prince of Songkla University, Institute of Technology of Cambodia)は、各国においてトップクラスの大学であり、金沢大学と連携関係にあります。本プログラムは環境工学を学ぶ学生を金沢大学に招聘し、アジア共通の環境問題である水質汚濁、大気汚染、廃棄物再資源化等

について日本での環境処理施設などの現地視察を交えて学ぶものです。更に、金沢大学自然科学研究科の「日中韓環境・エコ技術特別コース」(現「環境技術国際コース」)の学生がプログラムに参加し、同じ専門分野の学士で議論することにより、アジア地域の環境問題について相互理解を深めることを目的としました。



西脇ゆり(男女共同参画キャリアデザインラボラトリーセンター特任助教、元日中韓環境・エコ技術特別コースプロジェクトオフィサー)



池本良子(理工学研究域環境デザイン学類教授)

金沢大学の活動報告

科学技術振興機構『さくらサイエンスプラン』友情と感激 第6回

プログラム	
1日目	到着、オリエンテーション ウェルカムパーティー
2日目	第2回アジア環境・エコ技術と政策に関する国際シンポジウム
3日目	能登環境ツアー(石川北部R D Fセンター、のとじま水族館)
4日目	歴史視察(金沢市)
5日目	環境施設見学(辰巳ダム、犀川左岸浄化センター、金沢市西部環境エネルギーセンター)
6日目	教員による講義、環境施設見学(金沢大学環境保全センター、戸室新保埋立場)
7日目	グループワーク(金沢大学大学院生とのディスカッション)、修了式、フェアウェルパーティー
8日目	帰国



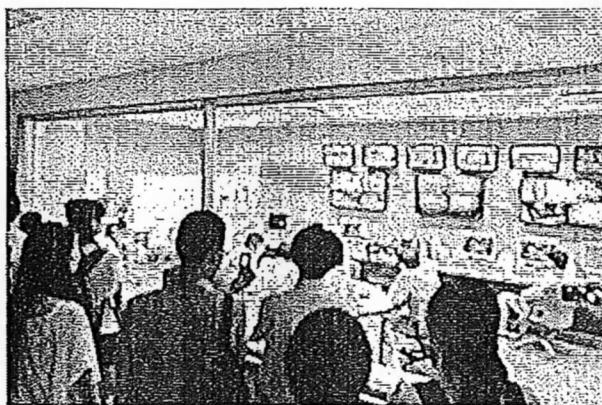
と共に楽しい時間を過ごしました。金沢市内の兼六園や歴史ある町並みも見学し、日本文化にも触れました。

プログラム中盤では、環境に関する特別講義を聞き、また金沢市内にある環境関連の施設を巡りました。暑い毎日でしたが、疲れを見ることなく、辰巳ダム、犀川左岸浄化センター、金沢市西部環境エネルギーセンター、金沢大学環境保全センター、および戸室新保埋立場を見学しました。各施設の説明を通訳を通して聞き、質問なども活発に行われました。日本の施設と自国の施設の違いについて考えていた様子でした。

このプログラムの特徴の1つは多くの施設

を見学することですが、これらの見学は学生達にとつてもっとも印象的だったようです。いずれの見学にも金沢大学大学院の学生が同行し、交流を深めていました。

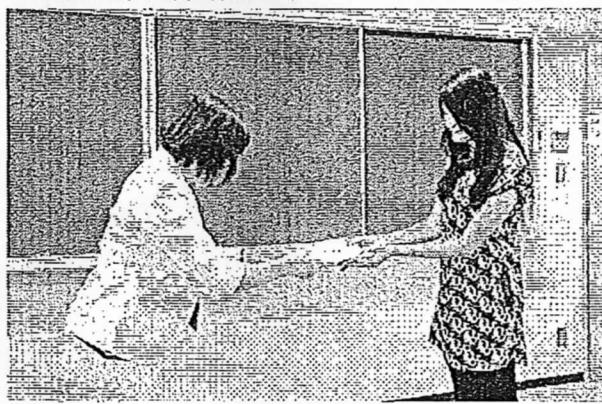
プログラム最終日には金沢大学の大学院生を加えた総勢約30人でグルーブワークを行い



金沢市西部環境エネルギーセンター見学



環境関連の施設を見学



笑顔で修了証を受ける



プログラム最終日のグループワーク

の際に役立てたいと思ひます。また今回のプログラムによつて、金沢大学と海外協定校との関係が更に深まつたと感じています。

日本の学生も日本人とは異なる考
たようです。また自
分の意見を伝える難
しさと大切さに気づ
き、もつと英語でコ
ミュニケーションを
とりたいと語学に対
する意欲も上がつて
いました。

留学生の感想からは、環境について勉強になつたという声以外に、金沢の街のきれいさや日本人のやしさを感じたという声が挙がりました。また一緒に学び討議したことでも様々な国籍の友人ができたことが良かったようです。

生達と議論を行い、最後に1つの発表にまとめました。お互いの国の違いを理解しつつ討議する姿が印象的でした。発表会では、教員を前に、堂々と発表し、質疑応答も活発に行われました。その後の、修了式では、緊張が解けたようで笑顔で修了証を受け取り、引き続いてのフェアウェルパーティは非常に盛り上がりしました。プログラムを通じて学生同士が仲良くなり、多くを学び、充実した時間が過ごせたことを実感できました。日本での最後の夜を楽しく過ごし、翌日帰国の途に着きました。